

令和3年度事業報告

I 事業実施報告

令和3年度事業計画に基づき、香川県、中央団体の支援・指導及び関係諸団体並びに会員との緊密な連携を保ち、次の諸事業を実施し、本県畜産の振興に努めた。

《公益目的事業》

(公1) 畜産の経営支援に関する事業

1. 地域畜産支援指導等体制強化（地方競馬全国協会公募補助事業）

行政の補完業務の円滑な推進を図るとともに、会員及び関係団体との連携を密にし、畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化、地域畜産に対する理解醸成等畜産関連公益活動体制の強化、地域団体と連携協調体制の基盤強化及び地域一体型事業モデルの創出等の事業を実施し、本県畜産経営の安定に努めた。

2. 肉畜経営安定対策補完事業

肉用牛経営では、繁殖雌牛の増頭、離島地域の肉用子牛集出荷等の推進に対する奨励金を交付し、養豚経営では、一代雑種雌豚の導入に対する奨励金を交付した。

1) 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

（（独）農畜産業振興機構公募補助事業）

地域における肉用牛の生産・改良基盤の育成・強化を図るため、中核的な繁殖経営農家の育成・支援のための増頭推進及び離島地域の子牛の流通活性化を図り、肉用牛経営安定対策を補完する取組支援を実施した。

区 分		内 容	奨励金 単 価	金 額	備 考
肉用牛生産基盤 強化対策事業	中核的担い 手育成増頭 推進	増頭推進 19頭	80,000円又は 100,000円	1,840,000円	香川県 農業協 同組合
地域の特色ある 肉用牛振興対策 事業	離島等子牛 流通活性化	集出荷 輸送費 61頭	小豆地区 (470円) 豊島地区 (800円)	45,050円	

2) 生産基盤拡大加速化事業（(一社)全国肉用牛振興基金協会委託事業）

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した場合に増頭実績に応じた奨励金の交付を実施した。

区 分	奨励金単価 (千円)	頭数(頭)	金 額	備 考
東讃畜産クラスター 協議会	246	4	984,000	奨励金単価については、飼養規模により 50頭未満の経営体 246千円 50頭以上の経営体 175千円
	175	0	0	
中讃和牛改良組合	246	2	492,000	
	175	33	5,775,000	
西讃和牛改良組合	246	5	1,230,000	
	175	4	700,000	
合計		48	9,181,000	

3) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（(公社)中央畜産会委託事業）

経営体質の強化を図るために肥育経営強化計画を策定した肥育経営体に対して、出荷頭数に応じた奨励金の交付を実施した。

奨励金交付状況

区 分	令和3年 1月～3月出荷実績	令和3年 4月、5月出荷実績	備 考
事業参加者	88人	87人	奨励金単価 20,000円/頭
奨励金交付頭数	2,298頭	1,540頭	
うち牛マルキン 登録頭数	2,125頭	1,500頭	
奨励金交付金額	45,960千円	30,800千円	

令和3年1月～3月出荷分については、令和3年度事業として実施。

4) 養豚経営安定対策補完事業（(独)農畜産業振興機構公募補助事業）

地域肉豚能力向上支援

生産集団において産子数の向上により生産コストの低減を図るために必要となる一代雑種豚の導入を支援し養豚経営の体質強化を図った。

区 分	内 容	導入 頭数	金 額	備 考
地域肉豚能力向上 支援	ハイコープ豚の導入により肉豚の生産性向上を図る。	60頭	1,200,000円	産直豚生産 流通部会

3. 畜産特別資金等推進指導事業（（公社）中央畜産会補助事業）

畜産経営維持緊急支援資金借受農家（1戸）の経営計画達成のため、支援協議会の開催（2回）、経営内容の調査・分析等を行い、改善上必要な事項について指導を行った。

4. 畜産リース指導事業

（（公財）畜産近代化リース協会受託事業、（公社）中央畜産会受託事業）

畜産農家が（公財）畜産近代化リース協会とのリース契約により導入した機械の保守管理状況の調査指導や事業の啓発普及に努めた。また、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）、畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業の窓口団体として（公社）中央畜産会からの委託を受け事業推進業務を実施した。

5. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産経営を巡る情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成・発展、地域の畜産基盤の維持を図るため、畜産経営者、会員および畜産関係団体に対して経営改善支援、実態調査、情報収集及びホームページによる畜産経営技術、畜産情勢、新技術に関する情報を提供した。

1) 畜産経営技術高度化事業（独自事業）

高度化する生産・経営技術に対応した支援指導を行うため、支援指導体制を整備し、畜産経営をめぐる情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図るため畜産経営技術の支援指導、ホームページによる県内畜産経営関係情報の提供を行い、本県畜産の発展に努めた。

区 分	内 容
畜産経営関係情報のデータベース化	ホームページ「かがわ畜産ひろば」の運用、情報の収集・蓄積

2) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査

（（公社）中央畜産会受託事業）

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査として、2戸の調査を行った。

3) 畜産・酪農生産力強化対策事業実施（家畜生産性向上対策）

（（公社）中央畜産会受託事業）

道府県における家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるため、家畜・酪農の生産性に係るデータ等の収集及び分析・技術指導を実施し、家畜の生産性向上を図った。

実施戸数 12戸：（肉用牛繁殖経営）

6. 畜産関係団体調整機能強化事業（（公社）中央畜産会受託事業）

県行政と緊密な連携のもと厳しい畜産環境に対処するため、畜産関係団体と連携し、県内畜産の活性化を図った。

- ① 畜産関係団体の機能強化のため、関係団体による讃岐牛等枝肉共励会等に協賛した。
- ② 畜産生産者の相互連携と体制強化のため、畜産生産者特に和牛関係団体間の相互連携、活性化及び第12回全国和牛能力共進会に向けた活動の充実を図るための「和牛研修会」を開催した。
- ③ 畜産生産者関係団体間の相互連携、活性化及び後継者育成、女性グループ活動の充実を図るための「讃岐畜産仲間づくり発表大会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響でやむなく開催を中止した。
- ④ 畜産経営相談窓口整備を設置し、生産者からの各種相談、助言、指導に応じるため各種研修会に参加した。また、GAPやHACCPの構築指導を行った。
- ⑤ 畜産女性のグループ化を進め、讃岐畜産女性の会を開催するほか、第21回讃岐畜産女性の会牛枝肉展示共励会を坂出食肉卸売市場において開催した。
- ⑥ 畜産物の展示・試食・販売を通じ、畜産に求められる消費者ニーズの把握するための「香川県畜産フェア」については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響でやむなく中止となった。

7. 畜産関係団体運営支援事業

（香川県養鶏協会、香川県養豚協会、讃岐牛・オリーブ牛振興会受託事業）

香川県養鶏協会、香川県養豚協会、讃岐牛・オリーブ牛振興会からの事務局業務を受託、実施した。なお、讃岐牛・オリーブ牛振興会については、令和3年5月末で、受託を終了した。

(公2) 畜産の価格差補填に関する事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度（基金事業、(独)農畜産業振興機構補助事業）

1) 肉用子牛価格安定事業

牛肉の輸入情勢の変化が肉用子牛の価格等におよぼす影響に対処するため、肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る制度で、令和3年度は、第7業務対象年間(令和2年度～令和6年度)の2年目として事業を実施した。

①令和3年度生産者積立金造成状況

(単位：頭、円)

品種区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
				生産者(1/4)	香川県(1/4)	農畜産業振興機構(1/2)
黒毛和種	1,322	1,600	2,115,200	528,800	528,800	1,057,600
その他の肉専用種	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	149	6,800	1,013,200	253,300	253,300	506,600
交雑種	4,458	3,200	14,265,600	3,566,400	3,566,400	7,132,800
合計	5,929	—	17,394,000	4,348,500	4,348,500	8,697,000

②令和3年度生産者補給金交付状況

(単位：頭、円)

区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
交付頭数		0	0	0	0	0
交付金額	補給交付金	0	0	0	0	0
	生産者積立金	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0

2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

本事業については、事務委託先2団体（香川県農業協同組合、(一社)香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、肉用子牛生産者補給金制度の推進と事務処理業務の効率化等を図った。

また、事業の円滑な運営のため、普及啓発、調査指導等を行った。

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度

((独) 農畜産業振興機構交付金事業・委託事業香川県助成事業)

1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的に、畜産経営の安定に関する法律第3条の規定に基づく肉用牛肥育経営安定交付金制度として、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額分の9割((独) 農畜産業振興機構交付金3/4、生産者積立金、県助成金により造成した肥育安定基金1/4)を交付金として交付する。

令和3年度は、第1業務対象年間(平成30年度～令和3年度)の4年目として事業を実施し、下表のとおり契約生産者に対し交付金を交付した。

なお、肥育農家の資金繰り支援のため、令和3年5月までの生産者負担金については、納付猶予が行われた。

令和2年度事業

①肥育牛交付金交付状況(令和3年1月精算払～3月) (単位:頭、円)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	238	1,270	134	1,642
金額	15,014,340	48,476,381	4,646,427	68,137,148

※生産者納付猶予額含む交付額

令和3年度事業

①肥育牛交付金交付状況(令和3年4月～令和4年1月概算払) (単位:頭、円)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	0	2,062	253	2,315
金額	0	66,801,438	7,816,978	74,618,416

※生産者納付猶予額含む交付額

2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度推進事業

本事業の推進、個体登録・販売申出、積立金納入、肥育牛交付金交付業務等について事務委託先2団体(香川県農業協同組合、(一社)香川県配合飼料価格安定基金協会)の協力を得て推進を行った。

3. 肉豚経営安定交付金制度

((独) 農畜産業振興機構公募受託事業、生産者受託事業)

県内の肉豚経営安定交付金制度に参加する養豚事業者等に対し、事業内容の周知を行うとともに事業参加のための書類作成支援等を行った。

参加農家: 8戸、販売頭数: 26,162頭

(公3) 家畜の生産衛生に関する事業

1. 家畜生産農場衛生推進事業

県下における家畜伝染性疾病の発生・流行防止のため、畜産農場における家畜疾病の清浄化への組織的な取り組みの支援や指定する獣医師による予防接種を実施した。

1) 家畜生産農場衛生対策事業（国公募補助事業、独自事業）

生産農場における疾病の清浄化及び流行予防のため、ワクチン接種推進に係る策定会議を開催し接種計画等を策定するとともに、吸血昆虫媒介疾病予防のためのワクチン接種の推進や家畜防疫の実施のための経費助成等を行った。

- (1) 牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るための防疫推進検討会
2回 参集人員 31名
- (2) ワクチン接種計画策定会議
1回 参集人員 13名
- (3) 牛伝染性リンパ腫対策実施農場における
牛伝染性リンパ腫検査 (牛21農場・1,033頭)
- (4) 吸血昆虫の忌避・駆除対策 (牛18農場)
- (5) 牛異常産予防接種実施状況

(単位：頭)

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
牛	牛異常産3種混合	40	47	0	47	118
	牛異常産4種混合	4,200	2,079	1,655	3,734	89
	牛アカバネ病	0	0	0	0	0

2) 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域農場 HACCP 認証支援事業）

((公社)中央畜産会助成事業)

農場 HACCP の構築に取り組む農場（酪農2戸、肉牛5戸、養豚3戸、採卵鶏1戸、肉用鶏1戸）に対して、農場 HACCP 認証基準に基づき指導員による農場 HACCP の構築指導を行い、県内の農場 HACCP 取組の中核となる農家への支援を行った。

うち養豚農家1農場が農場 HACCP 認証農場となった。

3) 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域自衛防疫推進事業及び地域疾病対策事業）
（（公社）中央畜産会助成事業）

県内伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動の有効な方策、特定疾病発生・拡大防止に関する検討等を行うとともに、生産者段階での牛 E B L の清浄化の推進等を実施した。

(1) 地域自衛防疫推進事業

地域自衛防疫取組促進会議	2回	書面開催
香川県家畜伝染病防疫演習（実地演習）		採材訓練
情報伝達訓練（実地演習）		机上訓練

(2) 地域疾病対策事業（1農場）

E B L 抗体検査 923頭、清浄化促進 17頭

4) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（（公社）中央畜産会助成事業）

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、競走馬以外の乗用馬等の馬インフルエンザワクチン接種の推進を実施した。

(1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催 1回 参集人員 7名

(2) 馬インフルエンザワクチン接種の推進 接種頭数 42頭

5) 野生獣衛生推進体制促進事業（家畜衛生対策推進協議会助成事業）

野生獣による家畜への伝染病の伝播や人獣共通感染症の浸潤等の防止を図るため、県内の家畜衛生関係者等を中心とした畜産分野での情報発信体制を構築・整備するとともに、野生獣の衛生実態等調査等を行った。

野生獣衛生地域対策推進モデル事業

(1) 地域衛生技術連絡協議会等の開催 4回 内、3回 参集人員 36名
内、1回 書面開催

(2) 野生獣の衛生実態等調査 シカ 10頭、イノシシ 20頭 合計 30頭

(3) 調査対象

シカ — ウイルス等抗体検査及び重金属等 11項目

イノシシ — ウイルス等抗体検査及び重金属等 14項目

6) 馬飼養衛生管理特別対策事業（（公社）中央畜産会助成事業）

競走馬以外の馬の飼養衛生管理体制の総合的な整備を図るため、地域馬飼養衛生管理体制整備委員会、馬飼養衛生管理技術地方講習会を開催し、地域馬獣医療実態調査等を実施した。

(1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回 参集人員 8名

(2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回 書面開催

(3) 地域馬獣医療実態調査 県下馬飼育者 24戸（内、回答戸数 15戸）

7) 特定疾病防止事業（独自事業）

牛・豚の各種疾病（牛ヘモフィルス、牛大腸菌性下痢症、豚丹毒、日本脳炎等）の発生予防のため、指定する獣医師により予防接種を実施した。

（単位：頭）

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
豚	豚丹毒（生）	2,800	36	2,979	3,015	108
	日本脳炎（生）	10	0	0	0	—
	日本脳炎（不活化）	40	2	42	44	110
	日本脳炎・豚パルボ混合	140	0	138	138	99
	日脳・パルボ・ゲタ	800	21	755	776	97
	TGE・PED混合	100	51	0	51	51
牛	牛イバラキ病	1,200	808	336	1,144	95
	牛5種混合（生・不活化）	1,700	1,184	586	1,770	104
	牛6種混合（生）	100	50	48	98	98
	牛ヘモフィルス	600	451	62	513	86
	牛RSウイルス感染症	170	0	158	158	93
	牛大腸菌性下痢症	10	0	0	0	—
	牛下痢5種混合	700	247	333	580	83
	牛マンヘミア・ヘモリチカ	230	62	244	306	133
	牛クロストリジウム・ボツリヌス感染症	500	639	0	639	128
	牛IBR・牛パラインフルエンザ混合（鼻腔内投与型）	200	0	0	0	—
	牛IBR・牛パラインフルエンザ・牛RS混合（鼻腔内投与型）	100	153	0	153	153

指定する獣医師

区分	指定人数
公益社団法人香川県獣医師会	4名
香川県農業共済組合	23名
計	27名

2. 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国公募補助事業）

BSEに対する不安を払拭するため、死亡牛の円滑な処理及びBSE検査を推進し、県内で死亡しBSE検査を実施した牛の所有者に対し処理経費助成等を行った。

死亡牛検査処理安定化対策 処理頭数：76頭

3. 家畜防疫互助基金支援事業（(公社)中央畜産会受託事業）

口蹄疫、豚熱等が発生した場合に備え、発生時の経済的損失を互助補償する互助基金の仕組み等について周知、参加促進を図った。

生産者積立金造成状況

(単位：戸、頭、円)

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者	
				積立金単価	積立金計
牛	乳牛（24ヶ月齢以上）	163	3,927	245	962,115
	乳牛（24ヶ月齢未満）		846	90	76,140
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢以上）		1,854	235	435,690
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢未満、子牛を含む）及び肉専用種肥育牛（子牛を含む）		7,261	125	907,625
	交雑種肥育牛		10,620	95	1,008,900
	乳用種肥育牛		1,355	90	121,950
豚※	繁殖用種豚（雌）	9	2,130	375	798,750
	繁殖用種豚（雄）		99	375	37,125
	肥育豚		17,700	105	1,858,500
合計		172	45,792	—	6,206,795

※家族型

(公4) 畜産及び畜産物の普及啓発に関する事業

1. 讃岐三畜銘柄確立総合対策事業（讃岐三畜銘柄化推進協議会補助事業）

讃岐三畜（讃岐牛・オリーブ牛、讃岐夢豚・オリーブ夢豚・オリーブ豚、オリーブ地鶏）の銘柄確立を一体的・効率的に推進するため、推進協議会を開催して讃岐三畜販売促進のための企画調整等を行い、オリーブ畜産物消費拡大キャンペーンの実施、ホームページを活用した讃岐牛生産農家情報の開示などに取り組み、流通県産特産畜産物として認知度を高めるとともに、流通消費拡大に努めた。

県内イベント「畜産フェア」への参加については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止とした。

2. 牛乳乳製品消費促進事業（独自事業）

牛乳・乳製品消費啓発用パンフレットの配布、年末年始および春休み・GWの生乳廃棄を回避するための消費拡大PR活動を2回実施した。

牛乳乳製品消費促進イベント「ミルクメッセ 2021in かがわ」については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止とした。

3. 学校給食用牛乳供給推進事業（国公募補助事業）

国内産牛乳を学校給食用へ年間を通じて安定的かつ効率的な供給の推進に努めた。

1) 学校給食用牛乳供給円滑化推進事業

学校給食用牛乳の供給についての共通認識等を醸成し、地域の特性を踏まえた供給の効率化を推進するため、推進会議等を開催した。

区 分	回 数
学校給食用牛乳供給円滑化推進会議	2回
学校給食用牛乳供給円滑化推進会議による実態調査	1回

2) 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

学校給食用牛乳の安定的な需要の確保、保護者負担額の軽減を図るため、遠隔地、離島など供給条件が不利な地域を対象に輸送費等のかかりまし経費の一部について、供給数量に応じ供給業者に交付した。

供給本数	事業対象区域	助成金額
14,567,511本	東かがわ市、さぬき市、高松市、坂出市、綾歌郡、丸亀市、善通寺市、仲多度郡、三豊市、観音寺市、小豆島町、土庄町、直島町	7,283,751円

3) 学校給食用牛乳新規利用推進事業

学校給食への新規の牛乳供給に初年度に限り、供給数量に応じ奨励金を供給業者に交付した。

供給本数	供給学校数	奨励金額
21,207 本	1 校	101,793 円

《収益事業等》

(他1) その他畜産振興に関する事業

畜産経営の安定・合理化の推進等により畜産振興に資するため、会員および畜産関係団体相互の連携、協調を強化する事業を行った。

- ・会員である市・町及び農業協同組合等の開催する畜産共進会・肉牛枝肉共励会・乳質改善共励会等に協賛し、賞状・賞品を提供した。
- ・畜産指導機関と連携して畜産振興に関する技術の普及に努めた。
- ・畜産経営技術等に関する指導資料を定期的に会員・畜産関係団体等に配布し、畜産情勢・新技術等に関する情報の提供を行った。